

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

3 月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



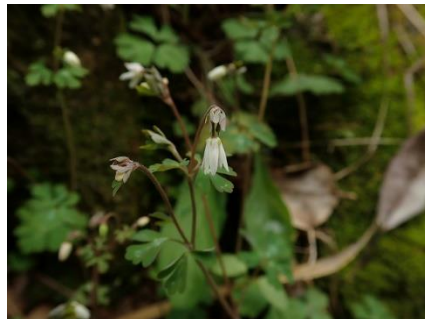
☆「ヒサカキ モッコク科」☆
5mm 程の白い花をたくさん下向きにつけ、独特な香りを放っている。この辺りではビシャコという。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆
湿った林下に生える常緑多年草。10mm ほどの実をつけている。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ種に指定されている。



☆「ナワシログミ グミ科」☆
庭木として植栽される常緑低木。稲の苗代を作る頃(4-5 月)に果実が熟すことから名付けられた。



☆「ヒメウズ キンポウゲ科」☆
草丈が低く日当たりの良い場所に生える多年草。6mm 程の白い花を下向きに咲かせる。



☆「セイヨウタンポポ キク科」☆
ヨーロッパ原産の帰化植物。季節を問わず花を咲かせる。繁殖力が強く要注意外来生物に指定されている。



☆「オオジシバリ キク科」☆
タンポポに似ているが、花びらが少なく葉の形も違う(葉はへらのような形)。日本在来の多年草。



☆「タチツボスミレ スミレ科」☆
全国のいたる所に生える多年草。花は薄紫色で匂わない。葉はハート形。日本を代表するスミレ。



「オオイヌノフグリ オオバコ科」
日当たりの良い場所を好む越年草。ヨーロッパ原産の帰化植物。花は瑠璃色で約 1cm。別名「星の瞳」



「ホトケノザ シソ科」
上部の葉が、仏が座る連座のような事から名付けられた。春の七草は本種ではない(タビラコが七草)。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くことも出来ますよ♪

多年草…同じ株から何年も枯れずに花を咲かせ続ける。 越年草(えつねんそう)…秋に芽を出して冬を越し春に花が咲く。

3 月 5 日には冬眠している虫たちが動き始める啓蟄(けいちつ)を迎えます。散策して鳥や虫、植物を観察しませんか(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2024 年 3 月前半号



